

衆議院法務委員会ニュース

【第 204 回国会】令和 3 年 3 月 19 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 民法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 55 号）

相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律案（内閣提出第 56 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）早稲田大学大学院法務研究科教授

山野目章夫君

日本司法書士会連合会会長

今川嘉典君

公益財団法人東京財団政策研究所研究員・政策オフィサー

吉原祥子君

司法書士総合研究所主任研究員

司法書士

石田光曠君

（質疑者）深澤陽一君（自民）、大口善徳君（公明）、青山雅幸君（維新）、高井崇志君（国民）、稲富修二君（立民）、藤野保史君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

深澤陽一君（自民）

- （1）平成 30 年 5 月 22 日の衆議院国土交通委員会において、山野目参考人自身が指摘していた相続登記の申請義務違反の多発の可能性を踏まえ予算と人員を備えた対応機関が必要となるおそれや同義務違反により処罰された後、相続登記がされないことへの懸念という相続登記の申請の義務化に伴う課題の民法等改正案での帰結についての同参考人の見解
- （2）相続登記の申請の義務化に伴う過料の制裁を科す前に所有者不明土地問題の解消に資するために簡略化される登記手続を国民に周知するなど司法書士会が担うべき役割についての今川参考人の見解
- （3）相続土地国庫帰属法案により国庫に帰属した土地の活用法についての吉原参考人及び石田参考人の見解

大口善徳君（公明）

- （1）民法第 239 条第 2 項の解釈により、土地所有者がその所有権を放棄し、土地を所有者のないものとする可否についての山野目参考人の見解
- （2）新設される財産管理制度をできるだけ利用しやすいものにするために司法書士会が各司法書士に行う具体的な対応策についての今川参考人の見解
- （3）所有者不明土地発生防止の観点からは、土地所有権の国庫帰属が認められるハードルが相当高いのではないかとの考えに対する今川参考人の見解
- （4）相続登記の申請の義務化による国民の費用面での負担が最小限となるような取組並びに相続登記の申請の義務化に係る規定及び期間経過後の遺産分割における相続分に係る規定が民法等改正法施行以前に開始等した相続や遺産分割についても適用される旨の経過措置の周知に当たっての司法書士会等の法的なサポートの必要性についての今川参考人の見解

青山雅幸君（維新）

- （1）土地所有権の国庫帰属に際して納付をしなければならない 10 年分の土地管理費相当額の負担金の具体的な運用について、生活困窮者の制度利用を踏まえた山野目参考人の見解
- （2）相続登記の義務化に係る過料の制裁の範囲について、生活困窮者の存在を踏まえた各参考人の見解

高井崇志君（国民）

- (1) 司法書士会の相続に関する相談活動における取組実績についての今川参考人の見解
- (2) 所有者不明土地問題の解消のため近年制定等された一連の法律において、司法書士会が関与してきたこと及び今後関与しようとしていることについての今川参考人の見解
- (3) 外資による日本の森林購入問題の現状及びそれに対し政府が採り得る具体的な対応策についての吉原参考人の見解
- (4) 相隣関係に係る隣地の使用の見直し規定に関し、必要な範囲であれば所有者の反対があっても隣地を使用でき、自力救済ができると解することについての山野目参考人の見解
- (5) 所有者不明土地問題の解消に関して参考となる諸外国の制度についての石田参考人の見解

稲富修二君（立民）

- (1) 民法の一部改正に盛り込まれている所有者不明土地等の対策案について、都市部とそれ以外の地域において異なる対応が必要であるとの考えに対する各参考人の見解
- (2) 外国人登録法の廃止に伴い在留外国人の身分関係を証明することが困難となっている現状を放置したまま相続登記を義務化することについての各参考人の見解

藤野保史君（共産）

- (1) 法定相続分による所有権移転登記を推進することが登記手続に関与しなかった当事者との合意形成を困難にするとの指摘に対する山野目参考人、今川参考人及び吉原参考人の見解
- (2) 相続登記の申請の義務化に関し、意思の伴わない所有が危険であるとの意見及びアメリカのランドバンクについての石田参考人の見解
- (3) 相続登記の申請の義務化という不動産登記法の改正は、対抗要件具備を当事者の意思に委ねるとする民法の原則にそぐわないものであるとの指摘に対する山野目参考人の見解